

1. 子育て家庭からいただいた声（例）

1 行政手続に関する声

何をどのタイミングで手続きをどこですべきか最初は分からず戸惑った。

予防接種ではスケジュール管理が難しく、病院とのコミュニケーションが大変だった。

つわりが辛い中、母子健康手帳の手続きのために外出するのが困難だった。

出産後の手続きは期限があるものが多く、産後間もない体の状態で役所に行かなければいけないのが辛かった。

妊婦健診の助成券もすべて手書きなのが大変。

予防接種の提出書類について予防接種の回数や種類も多い中、子どもを抱えながら時間を見つけて全て手書きというのがとても大変だった。携帯などで、記入をして電子化してもらえたら楽になると感じた。

3 子育ての不安や悩みに関する声

離乳食を始めるにあたり食べて良いもの、食べる量は離乳食相談会でよく聞かすが、絶対に食べていけないもの、危険なものも冊子でもらいたい。

ネットで不確かないろんな情報が出て何が正しいかわからない

子育てなどで困ったときに誰に相談して良いか分からなかった。助産師？ 支援センターの方など。とりあえず何でも相談したら振分けしてくれる、コンシェルジュ的な方がいると助かる。

生後3ヶ月くらいまで、理由もなく夕方にギャン泣きする期間が続き、精神的につらかった。

2 子育てサービスに関する声

子育て支援センターについての情報は紙媒体が多かったり個別にホームページを見なければならぬので様々な子育てイベントが一覧になっているホームページを作ってほしいです。

子育て支援をやっている場所がわからず、ホームページを見てまいち分かりにくい部分があった

切迫早産で入院になった時、上の子を預ける場所を探すのに苦労した。一時預かり可能と書いてある園でもいっばいで難しいと断られることも多かったので、できる限りリアルタイム情報を得られる場所があれば助かったかなとおもう。

市の産後ケア事業を使用したい時に、保健センターまで行って申込書を記入しないといけなかった。産後ケアを使いたい時は困っていてすぐに使いたいという時なのでもっと簡単にスピーディーに使用したかった。また、費用が高く、負担が大きかった。

4 経済的な支援に関する声

準備するものが多く、またお金もかかるので資金面で困った。産休手当など手当が入るのが遅くて大変だった。

出産前のものを揃えるのに、とてもお金が掛かった。あかちゃんのは高価なため、もう少し手当を厚くしてほしい。あと、手当の振り込みが遅くて家計が苦しかった。産んだらすぐに振り込んでほしい。

2. 将来的に目指していくイメージ

「デジタル技術で、子育てをもっと楽しく・安心・べんりに」

1. 大変な行政手続なども…



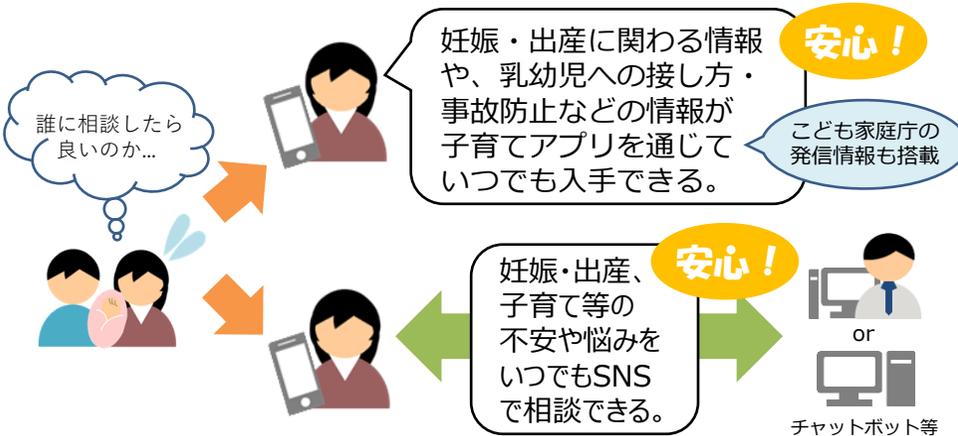
- ※ 必要な手続きが適時にわかり、スケジュール管理の手間、申請漏れがなくなる。
- ※ 乳幼児を抱えながら市役所に行かなくて申請でき、子育てセミナーの参加も容易に。

2. 保育サービス等を利用する場合も…



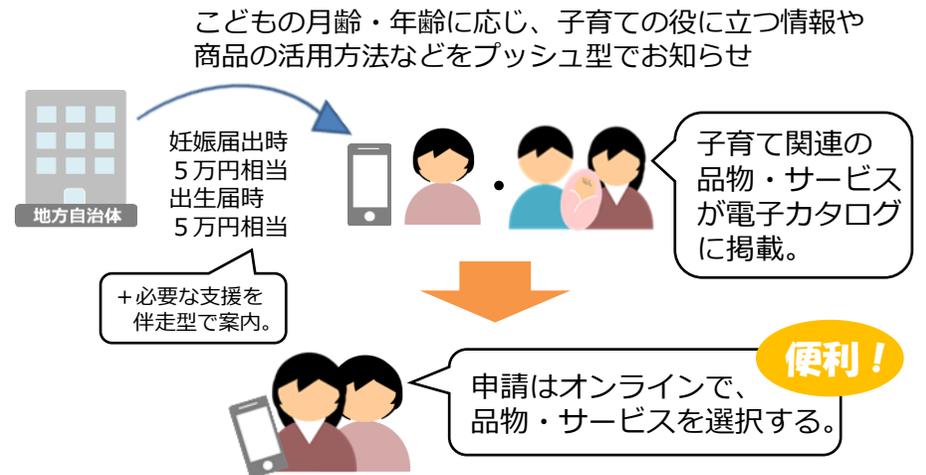
- ※ 急遽必要となる一時預かりや病児保育等も、アプリで空き情報を確認し、申請も完結。

3. 妊娠・出産の不安、子育てに悩んでも…



- ※ 子育て関連イベントなどの情報についても発信。
- ※ チャットボット等を活用して、不安や悩みへの正しい情報提供を可能にしつつ、案件によっては、助産師や保健師の直接面談を案内する。

4. 経済的な支援も…



このような声を受け、

『DXで「こどもまんなか」プロジェクト』

を展開していくこととし、

「こども政策DX推進チーム」を立ち上げ、

取り組みを始めています。